

# プラスチックごみ削減の取り組み

## エコ資材の使用推進

食品に使用するトレーは、プラスチック使用量がより少ないトレーへの変更や、何度でも使用・回収して生まれ変わるエコトレー®・エコAPET®等を積極的に使用しています。

低環境負荷資材への切り替えとともに、簡易包装やバラ販売の強化で脱プラスチックをめざします。

また、プラスチック資源循環促進法施行に伴い、レジで無料配布していたプラスチック製品の見直しを実施。バイオマスプラスチックを含んだ素材や木製のカタラーリへ変更や、使用頻度の低かったプラスチックカタラーリの提供を廃止、お客さまからお声がけがあった場合にのみ必要数を提供する等して、使用量と提供量の削減に取り組んでいます。

エコトレーへの変更で、  
2023年度は

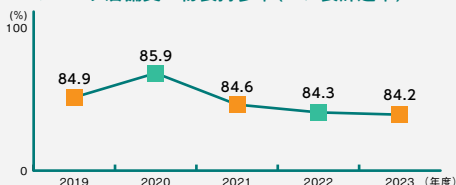
約 **426** トン  
のCO<sub>2</sub>削減へ!



## プラスチック製レジ袋の使用量削減

フレスタでは、容器包装リサイクル法の改正前よりプラスチック製レジ袋の有料化を推進し、レジ袋の消費量・流通量の削減に取り組んでいます。現在、お客さまの買い物袋持参率は80%を超え、全店舗でバイオマス素材配合30%のレジ袋に変更しています。

フレスタ店舗買い物袋持参率(レジ袋辞退率)



## GSHIP(ジーシップ)への参画



フレスタ・フレスタホールディングスでは、2050年までに瀬戸内海に新たに流出する海洋プラスチックごみゼロをめざす「2050年までGREENSEA瀬戸内宣言」の実現に向け、官民連携プラットフォーム「GREENSEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム(略称GSHIP)」に参画しています。店頭でのリサイクル資源回収の強化や営業に伴い排出されるプラスチック使用量の削減、清掃活動への参加等、課題解決に向け日々取り組んでいます。



▲ビールを飲んで瀬戸内海を守る!  
寄付つき商品の販売

## 環境学習 イベントの開催



▲エフビコリサイクルのしくみがわかる!工場見学ツアー



▲ひろしま地球環境フォーラム連携  
お店の中で環境にやさしい工夫を学ぶ「店内こどもエコ体験ツアー」

